

普及活動情勢報告（平成30年7月分）

中央東農業振興センター農業改良普及課

青ネギの変色要因を徹底検証！ ～JA土佐香美洋菜部会生産拡大大会～



7月2日にJA土佐香美山田支所にて、洋菜部会生産拡大大会が開催され、生産者33名が参加しました。

農業改良普及課からは、産地で大きな問題となっている青ネギの変色対策として、収穫後の管理に関する予備試験の結果を説明しました。

生産者からは、「収穫後の温度管理に気を付けたい」「うちには予冷庫がないが品温にも気を配りたい」等といった意見が出され、出荷調製時に注意すべき視点への気づきが得られたようでした。

農業改良普及課は、今後、より詳細な本試験を夏場高温期に実施する他、JA土佐香美や農業技術センター品質管理担当と連携して青ネギの品質向上に向けた課題の解決に向け、支援していきます。

皆で集落の将来について考えよう！

～(農)ファーム西永野 集落営農塾法人経営コースの開催～



7月11日に(農)ファーム西永野の組合員、パート雇用者等18名が集まり、集落ビジョン策定に向けて農業改良普及課が集落営農塾を開催しました。

まず、DVDを使って地域住民と協働で地域を守る事例を紹介し、その後、農山村地域経済研究所の楠本所長を講師に、ワークショップ形式で集落の困りごとや将来の夢等を引き出し、意見を整理しました。

特に、講師より人材不足対策として、「女性が活躍する仕組みづくり」、「集落内の人材力調査」、「男女・世代別意見交換」等のアドバイスがあり、参加者は関心を示していました。

農業改良普及課は、引き続き集落の維持発展に向けて支援していきます。



大葉を食べて暑さを乗り切ろう！ JA土佐香美大葉部会が開催されました。



7月17日にJA土佐香美大葉部会の生産者が8戸のほ場を一斉巡回し、現地で生育状況の確認をしました。

農業改良普及課からは、これからの管理について助言するとともに、環境制御技術実証ほの計画や選別機械について情報を提供しました。

参加者からは「実証ほで厳寒期にどのくらい増収するか興味がある」、「選別機械を見に行ってもいいかな」という声が聞かれました。

今後、農業改良普及課は、環境制御技術や選別機械導入の検討に向けて支援をしていきます。

担い手の確保を目指して!!～‘こうち農に就くフェア’が東京・大阪で開催されました～



6月24日東京で、6月30日大阪で同フェアが開催され、東京6組7名（香南市就農相談ブース）、大阪9組14名（南国市ブース）の相談を受けました。

移住がメインの相談会ではありましたが、東京会場では就農相談ブースで就農に向けた相談を受けました。各会場ともスムーズ教室では高知県野菜の特徴について勉強後、試飲したり、寄せ植えコーナーでは夏の花の特徴について勉強後、寄せ植え体験をするなど、高知県農業に興味を持ってもらう取組みも実施されました。

農業改良普及課は、引き続き担い手の確保に向け、関係機関と連携しながら支援していきます。

H30年度ニラ部会グリーンカレッジ開校！



7月2日、JA土佐香美本所において、今年度第1回目のグリーンカレッジを開催し、生産者10名が参加しました。グリーンカレッジは、栽培経験の浅いニラ生産者を対象としており、今回は「土づくり」と「経営目標の設定」について講習をしました。参加者からは、「土づくりについて深く学べた。」との声や今後のテーマに関して多くの要望も出されました。

今後、農業改良普及課は、講習内容に生産者の要望を取り入れながら、目標設定の重要性等経営の安定に向けて、現地検討会や視察研修を開催する予定です。

第10回・ピーマン南国地区合同研修会を開催しました！



7月17日にJA十市、JA南国市、JA長岡の3つのピーマン部会で合同研修会を開催し、生産者17名が参加しました。

研修会では、農業改良普及課から実証ほの成績の報告、産地ビジョン作成の提案、ピーマンの栽培管理について講演しました。また、担い手育成センターから「環境制御技術導入条件下における促成ピーマンでの増収技術実証実績について」の講演がありました。生産者からは「新しい仕立てに挑戦してみようか」、「かん水ついてよく分かった」などの声が上がりました。

農業改良普及課では今後も関係機関と協力し、南国市のピーマンの生産を振興していきます。